

令和3年7月8日
山梨県 企業局 電気課
新エネルギーシステム推進室
室長 宮崎 和也
電話 055-234-5268 (内線 5980)

報道関係者各位

水素ステーションにおける山梨県産グリーン水素の利用に係る合意書の締結について

山梨県（県庁：山梨県甲府市、知事：^{ながさきこうたろう}長崎 幸太郎）と、ENEOS株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：^{おおたかつゆき}大田 勝幸）は、水素の利用拡大に向け、米倉山電力貯蔵技術研究サイト（山梨県甲府市）で製造されるグリーン水素を、ENEOS東京目黒水素ステーション（東京都品川区）へ輸送し、燃料電池車へ充填することについて合意書を締結しました。

当該事業で利用する水素については、山梨県が民間企業と共同で技術開発を進めている「P2Gシステム」（※1）や「グリーン水素小規模出荷設備」（※2）の実証試験において、太陽光の電力で水を電気分解し製造したグリーン水素を利用する計画で、7月から9月にかけて、2回の輸送で、合計約600ノルマル立法メートルの米倉山産グリーン水素を、ENEOS東京目黒水素ステーションへ輸送し、利用する計画です。

山梨県とENEOS株式会社は、2050年までに温室効果ガスの排出量をゼロにするカーボンニュートラル社会の実現に向け、グリーン水素の利用拡大や普及啓発に対し、連携して取り組んで参ります。

- ※1 P2Gシステム：太陽光発電などの変動する電力で、水を電気分解し、水素を製造するシステムで、平成28年度から、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の委託を受け、山梨県、東レ株式会社、東京電力ホールディングス及び株式会社東光高岳が、共同で技術開発を行ってきた。
- ※2 グリーン水素小規模出荷設備：山梨県が、株式会社加地テック及び東レ株式会社がNEDOの助成事業として試作した電気化学式水素昇圧機の開発実証機と、株式会社タツノの電気化学式水素昇圧機を用いて、共同で米倉山に整備した高圧水素の製造・出荷設備



【写真①】 水素輸送用カードル



【写真②】 水素輸送車両



【写真③】 ENEOS東京目黒水素ステーション (ENEOS(株)提供)